

ばれっと

2006

8

NO.84

報 告

特 集

さよなら本町サポセン VOL.2
7年間の足あと。そして今後へ

サポセン移転関連情報

お知らせ
・新サポートセンターオープニングイベントのお知らせ

移転のため、
8月1日(火)~
8月31日(木)は
休館となります。ご迷惑
をおかけします。



変わらないもの

ありがとう本町サポセンVOL.3

7年間、市民活動団体の変遷やスタッフの入れ替わりを見てきた本町サポセンですが、変わらないものもありました。それは、活動することで社会をもっと良くしたいという皆さんの情熱です。出入りする団体の顔ぶれは変わっても、サポセン内にはいつでもその情熱が満ちあふれていたように思います。新サポセンでも、建物からあふれんばかりの熱い思いを、引き続き利用者の皆さんとしっかりと大切に育てていきたいと思えます。9月、新サポセンでお会いしましょう！
倉伸 いぶし銀の清掃テクニクで、愛情豊かに建物の隅々までお世話してくださった、清掃員の長崎艶子さんも変わらない存在でした。ありがとうございました！

ばれっとは、市内の公共施設、県内NPO支援センターなどに毎月3000部発行しています。

VOL.2

さよなら本町サポセン 7年間の足あと。そして今後へ

「市民活動の拠点」として開館したサポセンの7年間で、先月号に引き続きさまざまな思い出と数字で振り返ります。今月号では、「交流・連携・協働」「相談」の2つのキーワードで、現サポセンの足あとをたどります。9月からの新サポセンへの新しい一歩につながるはずです。

サポセンが開館して以来7年間、ここを拠点として、さまざまなNPOや市民活動団体、行政、企業、他公共施設などの相互の交流、連携、協働が行われてきました。主なものを振り返ってみましょう。

交流

サポセンの交流サロンは「市民活動の社交場」です。7年間で49,268人+の方が利用しました。

団体同士が、交流サロンで顔見知りになって仲良くなったり、そこから連携が生まれたりした例もあります。交流サロンのたくさんの出会いは作るうとして作れるものではありません。この素晴らしい出会いの場を新サポセンでも提供し続けていきたいと思えます。

サポセンで開催された7年間で100回の講座では、「交流」の機会も提供していました。

合計100回の講座では、同じ運営の課題や悩みを抱えた市民活動団体の交流の機会も作り出してきました。普段なかなか顔を合わせる事のない団体同士が、講座でいっしょにグループワークをしたり、名刺交換をしたり、講座で学ぶこと以上の効果もあったように思えます。

連携

2005年度からスタートした骨プロ事業は、他自治体では例のない、公共施設の連携事業です。

今まで公共施設は、それぞれの設置趣旨が違うという特性上、なかなか効果的な連携ができませんでした。

骨プロ事業によって、より市民や市民活動団体に施設を活用していただけるしくみができました。

市民活動カラフルフェスタでは、市民活動団体との連携企画を数多く実施しました。

毎年開催する、市民活動カラフルフェスタでも、さまざまなテーマで活動する市民活動団体と連携し、講座やイベントを開催しました。

協働

2005年度より始まった「協働相談」は毎月1回開催し、NPO・行政部署(合計7団体・部署)の相談を実施しました。

NPOと行政、企業の協働を支援しようと、協働相談所を開設しました。個別相談で協働事業の悩みや疑問を解決します。新サポセンでも継続して定期的に相談を行っています。

サポセンは、仙台市と指定管理者のせんだい・みやぎNPOセンターの協働事業です。

仙台市の施策と市民による市民活動の拠点を求める声、サポセン設置へとつながりました。そして、日本で初めての「公設NPO運営」というスタイルで、常にお互いの資源を最大限に活用してよりよい施設運営をめざしてきました。

日頃から市民活動支援室と指定管理者のせんだい・みやぎNPOセンターは月に3回以上の打ち合わせを行うなど、頻繁な情報共有を図っています。移転後も、より一層利用者のみなさんの声を反映した市民活動の拠点になるよう、「協働」で施設運営を行っています。

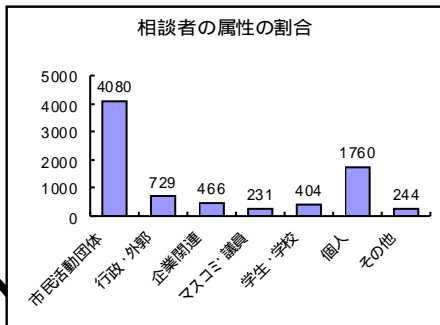
相談

サポセンへ相談や問い合わせをされた方の
7年間の総件数は**7,914**件でした。

サポセンの相談機能は、華やかな(?)情報機能と比べて地味ではありますが、利用者みなさんと直接お話ができ、サポセンに求められていることが何かを肌で感じられる、とても重要な機能です。1999年の開館時より、電話や窓口で市民活動に関わるさまざまな相談に対応してきました。

相談者はこんな人たちです。

サポセンでは、さまざまな方からの相談を受け付けています。



「市民活動団体」が全体の52%を占めています。次に多いのが「個人」の22%です。その他、行政の方や企業の方からの相談もあります。その内容も実にさまざまなのですが、7年間の相談の内容を分類すると、右のようなことがわかりました。↗

どんな相談がきたのでしょうか？

相談内容のベスト5は？

- 第1位 市民活動団体情報を教えてほしい
- 第2位 ボランティアを始めたいのだけれど・・・
- 第3位 NPOの基礎情報について教えてほしい
- 第4位 団体の運営の課題を解決したい
- 第5位 市民活動団体を立ち上げたい

5000 団体以上の市民活動団体情報をもとに、多くの市民と団体の仲介役となったり、団体の活動についての相談に答えたりと、市民活動の基礎から上級編まで十人十色の相談を受け付けています。

相談件数には含まれませんが、市民活動サポートセンターという施設の名称からか、時おりユニークな相談も舞い込みます。

たとえば・・・

- 町内会の夏祭りの日程を教えてほしい。
- 自転車のレンタルショップを教えてほしい。
- 他県から観光で来たのですが、美味しい牛タンのお店を教えてほしい。

などなど。市民の応援団としてこれからも腕を磨いていきたいと思えます。

すべては相談から始まった・・・ 相談からつながる可能性は無限大？！

事例をあげると・・・

仕事をリタイア後、自分のできることで何か社会に貢献したいと考えていたAさんは、サポセンで相談され、市内で活躍しているNPOがこんなにもたくさんあることを知りびっくり。興味を持った団体に連絡を取って今はある団体のメンバーとして活動しています。

NPOを立ち上げたいと相談に来館されたBさん。NPO立ち上げ講座を受講して、子育て支援の団体を立ち上げ、託児などを定期的実施し活躍されています。

サポセンでは相談を通して、相談者が必要としている情報を、情報の心臓部である情報サロンにてご紹介したり、NPOいろは塾、NPOマネジメント講座、NPO立ち上げ講座、そして協働相談やぱれっとなどとの効果的な連携を行っています。相談は、サポセンをしっかりと活用していただくための第一歩なのです。

新サポセンの相談はどうなる？！

新サポセンでは、事務用ブースのご利用団体を対象にした相談会やNPO立ち上げ相談などの新しい事業がスタートします。日常的な窓口での相談も今まで以上に力をいれていき、さらに支援体制を厚くしていきたいと考えています。情報収集のお手伝いや活動のお困りごとだってお聞きします。これまで以上に相談できる新サポセンにご期待ください。

お知らせ

新サポートセンター
オープニングイベントのお知らせ

連続

9月1日に本町から一番町に移転する市民活動サポートセンター。新施設のオープンを記念し、さまざまなイベントを開催します！詳しくは下記の概要をごらんください。みなさんのご参加をお待ちしております。

問い合わせ：
仙台市市民活動サポートセンター
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
申し込み：サポートセンター館内、市役所本庁舎1階市民のへや、各区役所で配布するチラシの裏面にある申込書で（ホームページよりダウンロードも可）



オープニングイベント概要

	日程	時間	内容	場所	定員	参加費
1日目	9月1日(金)	14:30 ~17:00	シンポジウム 「これからの公共施設はこうでなくっちゃ!! 宣言 ~大事で、必要な場所になるために~」	6F セミナー ホール	100名 (先着)	500円
		17:30 ~19:30	情報交換会 「新サポセン開館記念スペシャル交流会」	地下1F 市民活動 シアター	60名 (先着)	500円
2日目	9月16日(土)	15:00 ~17:00	シンポジウム 「徹底検証 NPOの未来は?」	地下1F 市民活動 シアター	100名 (先着)	500円
3日目	9月30日(土)	14:00 ~16:00	シンポジウム 「新しい文化・芸術の発信の場 「市民活動シアター」誕生!!」	地下1F 市民活動 シアター	100名 (先着)	500円

仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

サポートセンターのサービスあれこれ

- 貸室(研修室・会議室・セミナーホール/有料)
- 打合わせや講演会等で使えます。
- ロッカー(有料)・レターケース(無料)・事務用ブース(有料)
- 交流サロン
- 少人数の打合わせに予約なしで使えるフリースペース(無料)
- チラシ・ポスターの掲示、展示スペース(要申込/無料)
- 情報サロン

市民活動団体に関するさまざまな情報があります。
市民活動相談の受付や図書の見学・貸出も行っています。
市民活動に関する情報収集用インターネット閲覧(無料)

印刷作業室
印刷機(紙持ち込み/1製版100円)、紙折り機(無料)、
コピー機(1枚10円)

開館時間 平日/午前9時~午後10時
日曜・祝日/午前9時~午後6時
臨時休館日のお知らせ(施設点検等のため)

7/26(水) 8/1~31

お詫び

7月号ぱれっとのイベント紹介(7ページ)で、東北HIVコミュニケーションズ様の展示スペースの展示開始日を閉館日と記載する間違いがありました。

ご迷惑をおかけした団体の皆さまはじめ、見学に来館された方に深くお詫びいたします。

ご感想・ご意見をお待ちしています!

案内図

9月1日より移転のため所在地が変わります。同封の移転関連情報をご覧ください。



ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。
[バス] 商工会議所前下車徒歩3分
[地下鉄] 広瀬通駅東2番出口より徒歩3分
お車の方は周辺有料駐車場をご利用ください。
注) 路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

発行：仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目8-15
TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>
リニューアルオープンしました。ご覧ください!

発行日：2006年7月20日
編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPOセンター
編集人：真壁さおり 本田ふみ

古紙100%使用再生紙を使用しています。
大豆油インキを使用しています。